

## 東京杉並水素ステーションの開所について

記者各位

当社(社長:杉森 務)は、本日、東京都杉並区に「東京杉並水素ステーション」を開所しましたので、お知らせいたします。

本ステーションは、本年2月5日に開所した八王子高倉水素ステーション(東京都八王子市)に続き、東京都における当社として2カ所目の水素ステーションとなります。

当社は、昨年12月25日に、商用水素ステーション1号店を「Dr. Drive海老名中央店」(神奈川県海老名市)に開所し、これまでに「東京杉並水素ステーション」を含め、東京、神奈川、埼玉、千葉、愛知の1都4県に合計12カ所の水素ステーションを開所し、水素販売を開始しております。

引き続き、水素製造ならびに自動車用燃料供給に関わるインフラやノウハウを活かし、水素の「製造」・「輸送」・「販売」の効率的なビジネスモデルの構築を通じて、水素社会の実現に向けて貢献してまいります。

※当社は、次世代自動車振興センター「燃料電池自動車用水素供給設備設置補助事業」の採択を受けて、23カ所の商用水素ステーションの開所に向けた準備を進めております。

### 【東京杉並水素ステーション概要】

所在地	東京都杉並区宮前1-17-10
運営者	株式会社ENEOS水素サプライ&サービス(社長:内島 一郎)
敷地面積	589㎡(178坪)
水素の製造・輸送方法	オフサイト方式(圧縮水素を水素トレーラー等で輸送)
水素供給設備	圧縮機、蓄圧器(カーボンファイバー複合容器)、冷凍機、充填機など
供給能力(※1)	300Nm <sup>3</sup> /h
充填圧力(※2)	70MPa(メガパスカル)
充填時間(※3)	約3分間

※1 燃料電池自動車1台に充填できる水素量は最大50Nm<sup>3</sup>とした場合、1時間当たり5~6台に充填可能な能力。

※2 現在販売されている燃料電池自動車に搭載のタンク使用圧力に対応したもの。

※3 国際標準規格に基づく70MPa(満充填)までの充填時間。

以上